

## 請願第32号

### 放課後や休日の居場所への専門スタッフの配置に関する請願

#### 1 要 旨

発達障害の子供たちが学校以外の場でも生き生きと過ごせるように、放課後や休日の居場所への専門スタッフ配置に向けて、市町への支援を求める。

#### 2 理 由

福井県における通常学級内の発達障害を持つ児童生徒数は、2017年度3,845人で、前年度より150人以上ふえている。小中学校では、少ないながらも特別支援の免許を持つ教員や通級指導担当教員がおり、個に応じた指導が可能である。しかし、放課後の児童館や児童クラブ等には、発達障害を持つ子供に適切に対応できる専門スタッフはほとんど配置されず、子供同士のトラブルが発生している。児童館や児童クラブでの人間関係が学校生活にも影響して、障害を持つ子供が学校でも生きづらくなり、その結果児童館や児童クラブをやめて、自宅で一人で過ごしたり、居住から離れた民間の児童クラブに通ったりする実情がある。

障害を持つ子供たちが、放課後も友達と一緒に生き生きと過ごせるように、児童館や児童クラブ等に発達障害を持つ子供に適切に対応できる専門スタッフの配置が必要である。

#### 3 提 出 者

福井の教育をよくするための県民連合 会長 室田浩和

#### 4 紹 介 議 員

斉藤新緑、糀谷好晃、西本恵一、中井玲子、細川かをり、井ノ部航太

#### 5 受 理 年 月 日

平成30年11月7日